



八代のツルについて（平成22年3月）

周南市八代の里では、現在、6羽のツルが越冬し、2羽の傷病ヅルがケージの中で治療を受けております。

嬉しいことに、昨年（平成21年）の年の暮れに、単独で八代の里に舞い降りてきた渡来ヅルと、出水市から傷病鳥として移送され、治療していた放鳥ヅルの2羽はとても仲がよくなり、一緒に餌をついばみ、一緒にねぐらに帰っていくようになりました。

「うまくいくとペアリングが成功するかもしれない」

と、地元の人たちは大きな期待を持って暖かく見守っておられます。

今年こそ、6羽と一緒に北帰行をし、来年は子供を連れて、また、1羽でも多くのツルが八代の里に帰ってきてくれるよう大きな期待をしつつ、一般質問を終わります。